

# 図書委員会 協議の記録



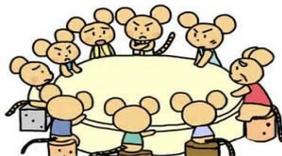
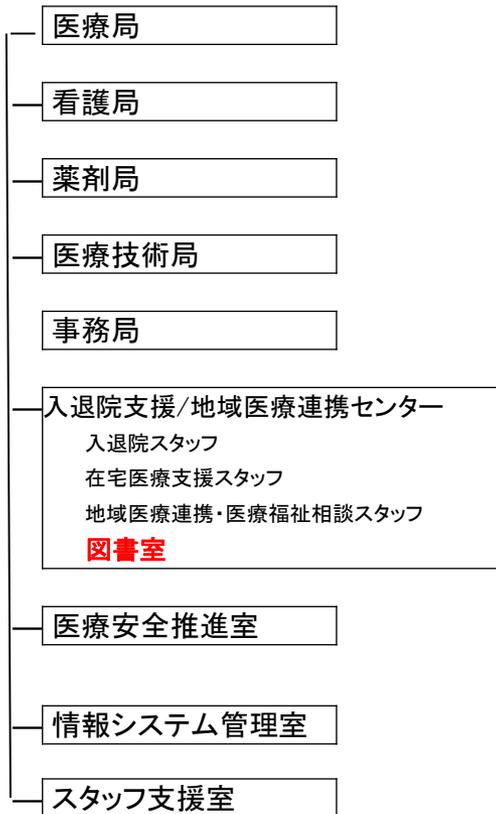
島根県立中央病院 図書室  
高橋 眞由美

第24回島根県医療関係機関等図書館（室）懇談会 平成27年11月9日

# 病院組織図 と 図書委員メンバー (H27年度)

## <組織図>

病院長 一 副院長



## 図書委員会

= 教育・研修部門の委員会  
のひとつ

## 図書委員会メンバー

委員長 一 医師 1名

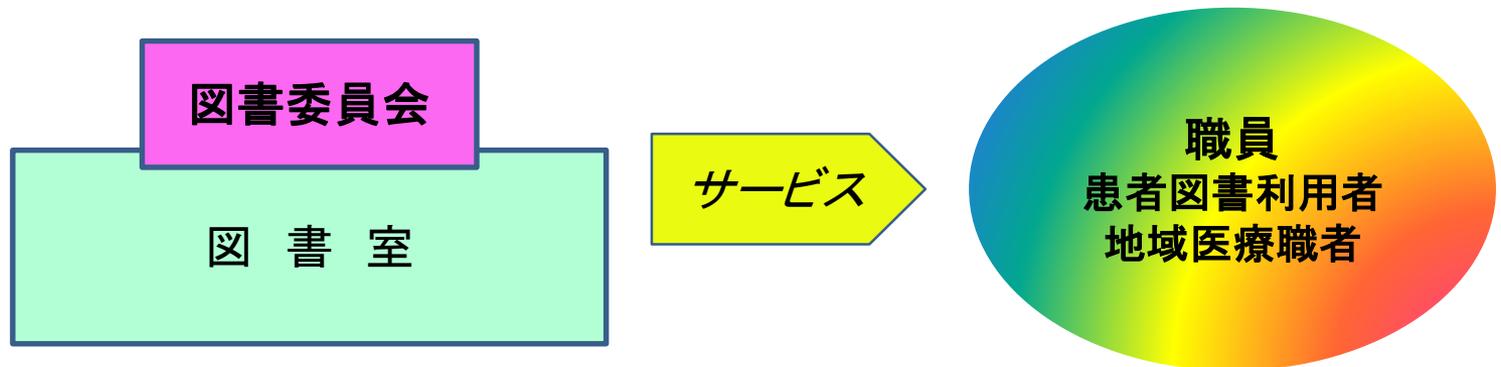
委員 一 医師 1名  
看護師 2名  
(1名は 図書室長)  
薬剤師 1名  
臨床検査技師 1名  
司書 1名  
= 書記  
委員会事務

# 図書委員会は何のためにあるか

＜図書委員会運営要項＞より

図書委員会（以下「委員会」という。）は、図書室、図書室分室および患者図書室（以下、図書室とする）の運営について審議検討を行い、医学および医療に関連する最新情報を提供し医療の質の向上に資することを目的とする。

⇒ 図書室の仕事は図書委員会の検討結果を受けて動いている。



# 図書委員会 ・ ・ ・ 定例会と臨時会

## 定例会 における 主な協議内容

- 年度始め ・ ・ ・ ・ ・ 前年度の図書費決算報告  
年度の予算執行計画作成  
年度の活動計画作成  
希望図書募集時期の確認
- 夏季 ・ ・ ・ ・ ・ 希望図書選定
- 年度末 ・ ・ ・ ・ ・ 次年度継続協議が必要な事項の確認  
次年度へ向けての予算の見通しの確認、など

## 臨時会 における協議内容

- 定例会の議題について継続して協議が必要なもの
- 単発の問題への対応について



# 議題にみる 平成17年度のトピック

## ○ 司書アシストの導入

年度執行計画で図書管理ソフト「司書アシスト」の購入を検討後、購入。資料の増加、件数が増える文献複写業務に対応するため、機能が充実した管理ソフトが必要になった。

## ○ 患者図書の場所の選定、蔵書の選書

前年より本格的に検討を始めた患者図書について、具体的な検討が始まった。定例会はもとより臨時会でも毎回検討が行われた。

## ○ 基本的な蔵書の整備の確認

ガイドライン、癌取扱い規約、基本技能のDVDなど

## ○ 図書室内に医療安全、感染症の資料のコーナー設置の確認

- \* 資料の整備への関心が高く、予算的にも対応する余裕があった。
- \* 図書管理ソフトの導入により図書業務全体を体系的に運用できるようになった

☆ 平成17年度委員会開催回数 **6回**

# 議題にみる 平成18年度のトピック

## ○未製本雑誌の貸し出しを中止

雑誌の紛失が多くなってきたため、貸し出しは中止することが決まった。

## ○図書室 レイアウト変更

図書室は医療情報管理科と同じ部屋で業務を行っていたが、病院のIT機能の集約のため医療情報管理科は新設の「情報システム管理室」に所属することになった。レイアウト変更工事を行い、図書室は部屋が別になった。

(→ 平成19年3月レイアウト変更終了)

\* 図書機能(事務スペース・学習スペース・書棚・DB用端末など)を整理し集約することができた。

## ○がん関係図書(医療職者向け、一般向け)の購入

癌拠点病院補助金でがん関係の図書を充実させた。

\* H18「がん対策基本法」施行、H19「がん対策推進基本計画」策定を受けて予算を配分された。

## ○JMLA加入について

情報収集のため、図書機能のレベルアップのため、JMLAへの加入を検討した。(→ 平成19年度加入)

☆ 平成18年度開催回数 6回

# 議題にみる 平成19年度のトピック

## ○患者図書—オープンに向け管理規程作成、蔵書整備

運用のために管理規程が必要となり作成した。

がん関係図書購入の予算が配当され、その一部を患者図書用に充てる。

その他、購入した図書について選定基準に合ったものかどうかを確認した。

意見箱の設置。利用者、職員から愛称募集することとなった。

⇒ 10月15日オープン。愛称は「道しるべ」に決まった。

## ○機能評価Ver.5受審(2008.3月)に向けての評価項目のチェック

機能評価ワーキングチームより図書部門の評価項目についての自己評価の提出を求められ確認した。

## ○院内規定集の「図書室利用要項」の見直し

6年前施行のものについて現状に合わない部分があるため見直しをした。

## ○「図書室管理要項」(＝図書室の管理運営の根拠となる)を作成

図書室の位置づけが曖昧であるとの指摘により作成。

\* 役割、意義、機能を再確認できた。

## ○当院会場で第16回医図懇開催の報告

## ○UpToDate の導入について 20年度よりCD-ROM版契約が決まった。

☆ 平成19年度開催回数 8回

# 議題にみる 平成20年度のトピック

## ○購入希望図書への予算配分

外国雑誌の値上がりで前年度希望図書が十分買えなかったが、予算増額とがんの補助金により幾分余裕があるため、購入希望の図書をできるだけ買えるように予算を配分した。

## ○定期購読雑誌のタイトル見直し

次年度の見直しに向けて院内メールを利用して調査を始めた。

## ○患者図書配置の資料について、コピーサービスについて

外科医師より国立がん情報センターHPのがん情報を印刷し患者図書においてはどうかと提案を受け検討した。当院として薦めることができる情報であるため実行。

利用者より一般書の配置希望があったが、コンセプトに合わないため置かないこととした。

コピーについては機器、マンパワー、著作権の問題から行わないこととなった。

## ○メディカルオンラインの契約

トライアルが好評であったため次年度から利用を開始することとなった。

# 議題にみる 平成21年度のトピック

## ○図書の廃棄

図書室分室(屋外)保管の図書(重複分、旧版)の廃棄。2F図書室の利用の無い書籍についてもチェックすることにした。

\* 図書室の狭隘化、資料の整備の対策として

## ○ProQuest の契約

トライアルが好評であったため導入を決定。

\* リンクアウトもでき外国文献入手の助けとなった。メディカルオンラインに続き、文献データベースの認識が広がった。

## ○患者図書への市民からの寄贈について

市民から一般書の寄贈の申し出があったが、コンセプトに合わないためお断りさせていただいた。

\* コンセプトを再確認する機会となる。

## ○年度予算の残額の利用

各種ガイドラインの充実と看護関係の本を購入。

\* 予算的に残額が発生するという余裕があった。

☆平成21年度開催回数 **3回**

# 議題にみる 平成22年度のトピック

## ○外国雑誌購読誌見直し

前年度のアンケートに基づいて購読誌決定。翌年より7誌が新規に追加となった。

## ○患者図書蔵書の充実

特に冊数が少ないジャンルの本を充実させることを確認した。

- \* コンセプトに合ったものは選定が難しいため、蔵書が増えない。医療職者からの推薦をよびかけることを確認した。

## ○院外からの図書室利用希望について

以前から地域医療職者の利用は受けている。

- \* 管理上利用可能時間は8:30～17:15とすることを確認した。

## ○図書予算の不足

インターネット配信商品、データベース購入の予算が不足し補正予算で対応した。

- \* 図書資料の充実に伴って必要経費が増大している。

☆平成22年度開催回数 3回

# 議題にみる 平成23年度のトピック

## ○ 困難な予算計画

データベース、インターネット配信商品の値上がりにより、希望図書に充てる金額を他に流用して資料を購入せざるを得ない状態になった。

一例： UpToDateが前年度途中からCD-ROM版からネット版になり大きく金額が上がった。

## ○ 最新看護索引webの購入

日本看護学会論文集の冊子体刊行中止に伴い、次年度からの契約を確認した。

## ○ 患者図書寄贈の申し出への対応について

一般書を寄贈したいと市民から申し出があったが、コンセプトに合わないためお断りさせていただくこととなった。

## ◎ 予算不足について繰り返し話題に上った

☆ 平成23年度開催回数 3回

# 議題にみる 平成24年度のトピック

## ○外国雑誌電子ジャーナル購読

定期購読中の外国雑誌のうちLWW関係9誌の電子ジャーナル化について業者より提案があり、電子版のメリットを説明し利用者に意見を聞いた。電子版への関心は高く、次年度から9誌は電子版購読となった。

\*これをきっかけに利用者、図書室とも電子化への意識が高まる。

## ○統計ソフト設置場所の検討

**利便性**（アクセスの良い場所、24時間入室できる場所）の観点から図書室のパソコンで利用することとなった。

（現在は研修部門の部屋に設置されている。）

## ○雑誌保存のためのPDF化について

職員より製本雑誌をPDF化して保存してはどうかという提案が出された。著作権法に抵触する可能性が考えられるからできない旨を質問者に回答した。

\*著作権について考える機会になった。

☆平成24年度開催回数 **2回**

# 議題にみる 平成25年度のトピック

## ○予算について

外国商品の値上がりによる予算の圧迫が懸念されたため、執行計画では外国商品に多めに配当し、調整可能な希望図書への配分は少なくなった。

\* この年より為替相場の円安が進み特に外国商品の値上がりが顕著となった。

## ○IIMS端末の増設について

図書室でIIMSを利用する職員が多いため増設の希望があったが、IIMSの利用目的は図書機能とは関係がないため継続して検討していくこととなった。

\* 図書室は位地的、利用可能時間の面から都合のよい部屋であり利用についていろいろな要望がある。

## ○電子ジャーナルについて

電子版購読中の9誌以外の電子化について検討することとなった。

## ○地域医療支援病院の用件 — 図書室の共同利用について

すでに行っている地域医療職者と同様の条件での利用を確認した。

☆平成25年度開催回数 **3回**

# 議題にみる 平成26年度のトピック

## ○機能評価受審

Ver.6受審のために評価項目の確認をした。(7月16日受審)

- \* 評価項目については整備されていたので、それ以外のことも準備を進めた。視覚に訴える資料を作成した。

## ○メディカルオンライン ID/PW配布

図書室でのみ利用していたが、院内の希望部署にID/PWを配付することになった。

- \* 誰でも使いやすく、有用なデータベースで人気がある。

## ○外国雑誌電子ジャーナル化

2015年1月より定期購読全60誌の電子化が決まった。

- \* 電子ジャーナルはメリットが多く、電子化反対の声はなかった。

☆ 平成26年度開催回数 **3回**

# 図書委員会の協議内容から読み取れること

- 議題はその時々 of 病院を取り巻く環境、医療政策を反映している → 病院としてそれらに対応するための図書資料を必要としている
- 電子化の広がり → 利用者が最新の情報に即座に入手できる環境が整った
- 予算が年々厳しくなっている
- 市民への医療情報の提供の機運が高まった

(患者図書室の資料の充実、インターネット環境の広がり)



図書室担当として、変化する図書室を取り巻く環境、利用者の要望に対応するため情報の収集と学習が必要となる

# 図書委員会活動を有意義なものにするために

## 図書委員会開催が決まったら・・・

検討事項についての調査、資料の準備をする

- ・利用者の声、要望
- ・数字で証明できるもの
- ・業者などから提供を受けた専門的な資料 など



図書室担当として事前によく整理し読み込んでおくことが必要



## 委員会終了後・・・

- △ 速やかに議事録を作成し、病院長を始め各部署へ協議内容を報告
- △ 決定事項は必要に応じて図書室長を通して管理会議に上程
- △ 院内LANで職員に広報する

# 図書室から 図書委員会へ

図書担当



〇〇は電子版  
が無いの？

図書室では 直接利用者に  
対応している

DBは医局でも  
使えるんですか？

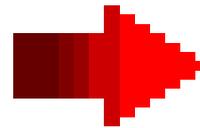
利用者



雑誌の貸し  
出しはない  
んですか？

利用者のひとことが検討事項になることも ..

- 図書担当では判断できず  
委員の見解が必要な事案
- 職員全体に関係すること
- 予算措置を伴うこと... など



図書委員会  
で検討



委員がそれぞれの立場からの意見と情報を提供することによって、公平でよりよい結論を導き出すことができる。

図書委員会は 図書室の仕事の

バックボーン

図書室業務の拠り所です☆



島根県立中央病院 図書室

電話 0853-30-6292

Email: [tosho@spch.izumo.shimane.jp](mailto:tosho@spch.izumo.shimane.jp)